土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　後山川通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

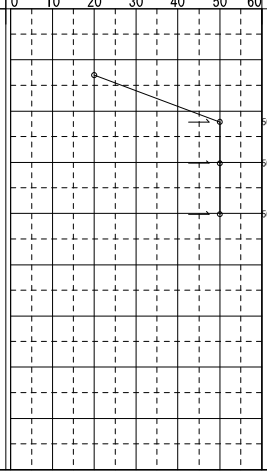
調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor-1	調査位置	広島県福山市鞆町後地	北　緯	34° 23' 07.6061"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和2年 4月20日～ 令和2年 4月24日	東　経	133° 22' 38.4460"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 44.53m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	4.00m	地盤勾配	10° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　D-0 / エンジン：ヤンマー　NFD13 / ポンプ：東邦地下工機　BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	42.73	1.80		礫混り砂質粘土		褐灰	rd3		未固結の礫混り砂質粘土。 コア長10cm前後の玉石が点在し、径5～80mm前後の亜角礫主体。 砂分は細粒砂優勢。 細粒分が多く、粘性を帯びる。	
2	42.23	2.30		流紋岩		褐			流紋岩(軟岩)。礫状コアで採取。	
3	40.53	4.00		流紋岩		灰			流紋岩(軟岩)。 コア長5～20cm前後の外周を残す片状～短柱状コアで採取。 亀裂間に土砂を挟む。 潜在亀裂が発達。コア肌は粗い。	
4										
5										
6										
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
20	1.15	7	7	6	20 / 300		
	1.45						
50EL	2.15	23	27 / 20		50 / 120	120	
	2.27						
50EL	3.00	50 / 40			50 / 40	40	
	3.04						
50EL	4.00	50 / 30			50 / 30	30	
	4.03						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				4/22
				4/23